

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

「潤いある暮らしを支える快適な町」再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

石川県鳳珠郡能登町

3. 地域再生計画の区域

石川県鳳珠郡能登町の全域

4. 地域再生計画の目標

能登町は能登半島の北東部に位置し、北は珠洲市と輪島市、南西は穴水町に隣接し東と南は富山湾に面して海岸線が続き、海岸線の大半は能登半島国定公園に含まれています。外浦の豪壮な海食景観に対して、富山湾に面する内浦の柔らかな沈水景観は、九十九湾や遠島山など好風景を現しています。

北西端にはブナ林で知られ展望が楽しめる鉢伏山があり、町域の約8割が丘陵地となっています。またこれらを水源として、町野川・山田川・寺田川・梶川・松波川・九里川尻川が日本海に注いでいます。丘陵地は海岸にせまり、海岸段丘の発達が見られ、特に東側の海岸線は屈曲に富んで天然の良港を形成し、海・山・川の豊かな自然環境に恵まれています。

しかし、自然に恵まれた快適な水環境を保全するための污水处理施設の整備が遅れており、生活雑排水に起因する水質の悪化が、生活環境や河川・海岸線および漁港といった親水空間の環境をも悪化させる原因となっています。

当町では昭和61年から農業集落排水事業を始めとし、公共下水道事業、漁業集落排水事業、浄化槽設置事業（市町村設置型・個人設置型）を進めていますが、平成16年度末における污水处理施設整備率は61%と、石川県平均の80%を下回っています。

このため污水处理施設整備交付金を活用して、污水处理施設の整備を推進することにより公共水域の水質悪化を防止し、生活環境の改善を図ります。

そして水質改善や関連事業に記載されている事業などにより、生活空間および観光地や農村地域の環境を整え快適な生活環境を創出し、潤いある暮らしを支える快適な町作りを進め、Uターン・Iターンの増加を促し地域の再生を目指します。

（目標）污水处理施設の整備促進

- ① [能登町全域の污水处理人口普及率を61%から77%に向上]
- ② [能登町人口減少率を1.9%から1.7%に抑制]

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

地域の実情にあわせ公共下水道と浄化槽の整備を推進し、水環境改善により生活に潤いと活力をあたえ、「住んでみたい、住んでいたい」と思える魅力ある町を作ります。

5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続きを了している。なお整備箇所については、別添の整備箇所を示した図面による。

・公共下水道：平成17年4月1日に事業認可。

[事業主体]

いずれも能登町

[事業の種類]

公共下水道

浄化槽（市町村設置型・個人設置型）

[事業区域]

公共下水道

恋路処理区

浄化槽（個人設置型）

宮地地区

浄化槽（市町村設置型）

能登町のうち集合処理及び浄化槽（個人設置型）
区域外

[事業期間]

公共下水道

平成18年度～平成22年度

浄化槽（個人設置型）

平成18年度

浄化槽（市町村設置型）

平成18年度～平成22年度

[整備量]

公共下水道 φ75～150 4,900m

浄化槽 188基

なお、各施設における新規の処理人口は下記のとおり。

- ・公共下水道 243人
- ・浄化槽 520人

[事業費]

公共下水道

交付金対象事業費	340,000千円 (うち交付金 170,000千円)
単独事業費	143,000千円

浄化槽 (個人設置型)

交付金対象事業費	6,918千円 (うち交付金 2,306千円)
----------	-------------------------

浄化槽 (市町村設置型)

交付金対象事業費	206,919千円 (うち交付金 68,973千円)
単独事業費	30,300千円

合計

交付金対象事業費	553,837千円 (うち交付金 241,279千円)
単独事業費	173,300千円

5-3 その他の事業

5-3-1 基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 基本方針に掲げられた支援措置によらない独自の取り組み

能登町では、地域再生法による特別の措置を活用するほか、以下の他分野にわたる事業・企画と連携し、総合的に地域づくりに取り組んでいる。

・能登町エンデバーファンド21

住民主体の魅力的なまちづくりを推進するため、環境保全等まちづくり活動の調査企画・活動・交流会等に対して、取り組み団体等に助成する。

・能登町定住促進奨励金

人口の流出に歯止めを掛けるため、新規学卒者やUターン・Iターンをして3年以上定住した方々に奨励金を交付する。

・農業経営基盤強化促進事業

農業者の安定的な経営育成のため、農業経営基盤強化資金を農林金融公庫から借り受けた額に対する利子助成を行う。

・ござれ祭り

能登町の植物公園において毎年夏に開催される町を代表するイベントで、各地域を代表する「キリコ (奉燈)」が乱舞し、地域の伝統芸能の披露や地域特産品販売等で毎年多くの観光客 (15,000人) でにぎわう。

・やすらぎ交流空間整備事業

統廃合により廃校となった小学校を簡易宿泊施設に改修し、近隣の農家と連携して農業体験等を行い、交流人口の増大を図り、地域活性化を促す。

6. 計画期間

平成18年度～平成22年度まで

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、能登町が目標にて示した数値目標（汚水処理人口普及率77%以上、人口減少率1.7%以下）について、調査及び評価を実施する。

なお、整備された施設については、維持管理の状況・水質検査結果等を把握したうえで事業成果を検討する。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし